

平成二十九年年度 岡山大学 国語

問題一

問一	「外的関係」は当の対象にとって本質的でない関係を表すが、「内的関係」は他のものとの関係を属性に還元できるということ。				
問二	ラッセルにとって、属性に還元できず本質的ではない関係であることを強調している。				
問三	属	性	の	持	ち
問四	と	に	性	を	因
	い	そ	に	反	果
	う	れ	還	例	関
	関	ぞ	元	に	係
	係	れ	さ	挙	を
	が	の	れ	げ	含
	残	属	た	、	ま
	る	性	と	A	な
	。	は	し	と	い
		ど	て	B	非
		ち	も	の	対
		ら	、	関	象
		が	そ	係	的
		先	の	が	関
		か	先	属	係

問題二

問一	ア
問二	これ
	披露
	が
	私
	の
	イ
	損
	ウ
	老練
	エ
	怪
	オ
	湿
問三	叔父の失踪を特別なこととして自慢げに語っていたのに、「私」が期待はずれの質問しかなかった。たので、不機嫌になった。
問四	直喩を用いて彼女の肌の様子を表しており、心臓病のせいであらに閉じこもりつきりであるから、肌が透き通って薄く、血色が悪く非常に不健康であることが表されている。
問五	小さくてつるつるとして薄い紫色の唇が紡ぎ出す言葉とのアンバランスさが魅惑的で、ずっと見続けていたかったから。
問六	不意に、理由もなくきっぱりと行方をくましました失踪者たちの影が、残された人々に語りつくされることで「私」に寄り添っており、「私」は非日常的な「失踪」という出来事に身近に関わりながら、失踪者たちの確かな存在に思いを馳せているから。

平成二十九年 岡山大学 国語

問題三

問四	問三	問二	問一		
			ア	エ	カ
謀反を起こそうと思つた武士たちが、夜昼親しく宗尊親王にお仕えするうちに、自然と同じ志のものたちが増え、親王に北条氏討伐のお気持ちがあるかのように言いふらしたことが、原因だと考へている。	「虎」は將軍として恐れられていた昔の宗尊親王、「ねずみ」は將軍職を追われ、身を潜めている今の宗尊親王をととえている。	イ もの寂しく	無実の罪が晴れるように、やはり神に頼みをかける。		
			オ 差し支えのないこと	後嵯峨院はたいそう心苦しく思い申し上げなされた。	
			宗尊親王がおいでになる。		

問題四

問四	問三	問二	問一	
			ア	エ
き 日 災 っ 今	締 々 軍 備 の 点 検 を 行 つ て 軍 隊 を 引	る べ き だ 。	あ り 、 急 に や っ て し 、	の 世 の 中 の 変 化 は 今 ま で に な か
			イ あへて	ウ かくのごとく
ちようどそのとき、楚の領土が広がり、兵力が強まり、国力がさかんになり、他国が戦争をしかけることが決してなかったから。			災難は急にやってくるということを、楚の人に教えた。	